

**三菱自動車、新型軽EV『eKクロス EV』を本年夏に発売
～航続距離 180km で実質購入金額 184.8 万円からの身近で使いやすい軽EV～**

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、軽自動車タイプの電気自動車『eKクロス EV』を新たに設定し、本年夏から全国の系列販売会社及び楽天市場店で販売を開始します。メーカー希望小売価格は2,398,000円～2,932,600円（消費税10%込）。令和3年度補正予算「クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金」および令和4年度「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」の対象であり、550,000円の補助金を受けた場合のお客様の実質的な購入額^{*1}は1,848,000円（消費税10%込）からとなります。さらに地域によっては自治体からの補助金を活用することができ、いっそうお求めになりやすい価格となります。



新型『eKクロス EV』

新型『eKクロス EV』は、SUVテイストの軽自動車であるeKクロスシリーズ^{*2}に新たに設定するEVモデルで、日常使いに十分な航続距離^{*3}を実現しながら、お求めになりやすい価格設定としました。軽ハイトワゴン『eKクロス』と同等の広々とした快適な室内空間と使い勝手の良さに、EVならではの滑らかで力強い走り、圧倒的な静粛性と良好な乗り心地、さらに先進の運転支援機能とコネクティッド技術による快適性と利便性を融合させました。

カーボンニュートラル社会の実現に向けて電動車シフトが求められている現在において、三菱自動車らしい“環境×安全・安心・快適”を具現化した「いい軽（=eK）」として、新型『eKクロス EV』を提案します。

<『eKクロス EV』オンライン発表会の動画はこちら>（5月20日15時公開）
https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/kei_ev/teaser/

新型『eKクロス EV』は以下を主な特長としています。

（1）身近で使いやすい軽EV

- ①日常使いに十分な一充電走行距離180km（WLTCモード）^{*3}
- ②EVならではの滑らかで力強い走り、圧倒的な静粛性と良好な乗り心地
- ③EVシステムのレイアウト最適化による広々とした快適な室内空間

(2) 乗員にも社会にも優しい軽 EV

- ①三菱自動車らしい安心感の高い走りを実現するグリップコントロール
- ②駐車支援機能「マイパイロット パーキング」の初採用など充実の運転支援機能
- ③SOS コールの他、空調・充電等をアプリでリモート操作できるコネクティッド技術
- ④電力需給問題に貢献する蓄電池であり、頼もしい電力源となる大容量の駆動用バッテリー

(3) EV ならではのクリーンなデザインと機能装備

- ①クリーンで洗練された EV らしさと SUV らしさが融合したスタイリング
- ②視認性と操作性に優れた先進的な 7 インチカラー液晶メーターとセレクトアーレバー
- ③EV 関連情報を表示する 9 インチスマートフォン連携ナビゲーション

*1・・・車両本体価格から補助金額を差し引いた購入額です。リサイクル料金、保険料、消費税以外の税金、届出等に伴う諸費用は含まれません。

*2・・・軽ハイトワゴン『eK クロス』、軽スーパーハイトワゴン『eK クロス スペース』

*3・・・軽自動車及びコンパクトカーのユーザーの約 8 割は、1 日当たりの走行距離が 50km 以下（自社調べ）であり、大半のユーザーは 2 日間充電せずに走行できる想定

< 『eK クロス EV』 スペシャルサイトはこちら >

https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/ek_x_ev/special/

1. 商品概要

新型『eK クロス EV』は eK クロスシリーズに新設定した次世代の EV モデルです。力強い SUV テイストのスタイリングに専用パーツを装着し、クリーンなイメージのミストブルーパール/カップパーメタリックの 2 トーンカラーを新たに設定するなど EV らしさを強調しています。また、インテリアの 7 インチカラー液晶メーターやセレクトアーレバーも EV としての機能性を追求しています。

新開発の EV システムはレイアウトの最適化によって、ガソリンエンジンモデルと同様の広々とした快適な室内空間を確保するとともに、低重心化と理想的な前後重量配分の実現により優れた操縦安定性と良好な乗り心地を実現しています。一充電走行距離は日常使いに十分な 180km (WLTC モード) とし、EV ならではの滑らかで力強い加速、圧倒的な静粛性と良好な乗り心地を実現しています。また、先進の運転支援機能やコネクティッド技術によって、ドライバーの負担を軽減するとともに、安全・安心で快適な走りを提供します。

大容量の駆動用バッテリーは非常時にも頼もしく、V2L^{*4} 機器を介することで便利な電源として電化製品を使用することができ、また V2H^{*5} 機器を介して電力を家庭で使用したり車両に充電したりと、電力需給問題にも貢献します。

グレードは、7 インチカラー液晶メーターやイノベティブペダル オペレーションモードを備えた充実装備の「G」と、それらに加えて SOS コールや 9 インチスマートフォン連携ナビゲーションなどを標準装備した上級仕様の「P」をご用意しました。

*4・・・V2L (Vehicle to Load) 機器を介してクルマに蓄えた電気を取り出すことができる仕組み

*5・・・V2H (Vehicle to Home) 機器を介してクルマに蓄えた電気を住宅へ給電することができる仕組み

(1) 身近で使いやすい軽EV

① 日常に十分な一充電走行距離 180km

- ・新開発した総電力量 20kWh の駆動用バッテリーを搭載し、通勤、買物や送迎といった日常使いに十分な一充電走行距離 180km (WLTC モード) を実現しました。軽自動車及びコンパクトカーのユーザーの約 8 割は、1 日当たりの走行距離が 50km 以下 (自社調べ) であり、大半のユーザーは 2 日間充電せずに走行できる想定です。
- ・普通充電 (AC200V/14.5A) と急速充電の 2 つの充電ポートを装備しており、普通充電は約 8 時間で満充電、急速充電では約 40 分で 80% の充電が完了します。普段は帰宅後に自宅で普通充電、遠出したお出かけの際には急速充電と、便利にお使いいただけます。
- ・駆動用バッテリーにエアコン冷媒を用いた冷却システムを採用し、電池の温度上昇を制御することで、高速走行と急速充電を繰り返したとしても、高い充電量を維持することができます。

② EV ならではの優れた走行性能

- ・最大トルクはガソリンターボモデルの約 2 倍となる 195N・m を発揮、モーターの制振性能も向上させ、EV の魅力である滑らかで力強い走りを実現しています。街中ではキビキビと思いに走り、高速道路では余裕をもってスムーズに合流することができます。
- ・市街地走行に最適な NORMAL (ノーマル)、モーター出力を抑えて電費を向上させる ECO (エコ)、アクセルレスポンスがよくキビキビ走れる SPORT (スポーツ) の 3 つのドライブモードを設定し、運転状況に応じて任意で選択することができます。
- ・アクセルペダルの操作で加減速をコントロールできるイノベティブペダルオペレーションモードを採用。減速時にアクセルペダルからブレーキペダルに踏み替えることなく適切な制動力が得られるため、操作のわずらわしさや疲労を軽減します。なお、より強い減速が必要な時や完全に停止させるときはブレーキペダルでの操作が必要です。
- ・床下の最適な位置に薄型化した駆動用バッテリーをレイアウトし、ルーフパネルの板厚を薄くすることで低重心化を図り、コーナリング時のロールを抑えました。また、前後重量配分を理想に近い 56 : 44 としたことで四輪接地荷重のバランスを最適化し、サスペンションを専用チューニングとすることで、軽快感と安定感を両立した気持ちのよい操縦性、落ち着きのある質感の高い乗り心地を実現しました。

③ 広々とした快適な室内空間

- ・駆動用バッテリーを薄型化して床下にレイアウトすることで、クラス^{*6}トップレベルの後席ニールームを実現。また前席ショルダー룸もクラス^{*6}トップレベルの広さとし、快適な室内空間を実現しました。
- ・クラス^{*6}トップレベルの荷室容量を確保。さらに荷室後方からのワンアクションでシートスライドやリヤシートバックを倒す操作を可能にするなど使い勝手にもこだわりました。アンダーボックスには普通充電ケーブルを収納することができ、荷室空間を有効に利用できます。

*6・・・全高 1700mm 以下の軽ハイトワゴンクラス

(2) 乗員にも社会にも優しい軽EV

① 三菱自動車らしい安心感の高い走り

- ・どんな天候や路面でも安心してドライブを楽しめるよう、滑りやすい路面での発進をサポートするグリップコントロールを標準装備。雪道やぬかるんだ路面で片輪が空転した場合、スリップした車輪をブレーキ制御。グリップしている車輪に、より大きな駆動力を加えることで走破性を高めます。

② 毎日の運転をサポートする「マイパイロット」

- ・スムーズな車庫入れをサポートする「マイパイロット パーキング」を三菱自動車として初めて採用しました。駐車可能位置を自動で検知し、後退しての駐車、前進しての駐車、縦列駐車の内ずれにも対応します。（「P」にメーカーオプション設定）
- ・高速道路同一車線運転支援機能「マイパイロット」を搭載。レーダークルーズコントロールシステム[ACC]と車線維持支援機能[LKA]により、車間距離と車線中央付近をキープしながら走行することで、ドライバーの負担を軽減します。（「P」「G」にメーカーオプション設定）
- ・7インチカラー液晶メーターに自車のブレーキランプ点灯の有無や「マイパイロット」の作動状況などを分かりやすく表示することで、安全性を向上させています。

③ 繋がる安心、コネクティッドシステム「MITSUBISHI CONNECT」

- ・安全・安心で快適なカーライフをサポートする「MITSUBISHI CONNECT^{*7}」を採用。万が一の際のSOSコールの他、駆動用バッテリー残量やドアの開閉状況が確認できるマイカーステータスチェック、離れたところからもエアコンが開始できる今すぐエアコン、充電完了等を通知する充電管理、車両の駐車した位置を確認できるカーファインダー（駐車位置確認）などの便利な機能でカーライフをサポートします。（「P」に標準装備、「G」にメーカーオプション設定）

*7・・・「MITSUBISHI CONNECT」は三菱自動車が提供するコネクティッドサービスの総称です。ご利用にはスマートフォンアプリ「My MITSUBISHI CONNECT」のインストールとユーザー登録が必要です。

④ 頼もしい電力源となる大容量の駆動用バッテリー

- ・自宅でV2H（Vehicle to Home）機器と接続すれば、電力使用量の多い日中に駆動用バッテリーに蓄えた電力を家庭で使用し、夜間に駆動用バッテリーを充電するなど、電力のピークシフトに貢献することができます。
- ・駆動用バッテリーに蓄えた電力は一般家庭の約一日分^{*8}に相当し、例えば停電などの際にはV2H機器を介して頼もしい非常用電源として活用できます。また、V2L（Vehicle to Load）機器を介して、例えばキャンプなどのアウトドアレジャーでも電化製品などを使用することができます。

*8・・・一般家庭での1日当たりの使用電力量を約10kWh/日として算出

(3) EVならではのクリーンなデザインと機能装備

- ・人とクルマを守る安心感を表現したフロントデザイン「ダイナミックシールド」など、三菱自動車ならではのSUVテイストのデザインに、ダーククロムメッキのフロントグリルやLEDのフロントフォグランプを採用するなど、EVらしいアレンジを加え、クリーンで洗練された印象としました。
- ・ボディカラーはクリーンな印象をもたらすミストブルーパールに、電気銅線をイメージした銅メタリックのルーフを組み合わせた2トーンを新規に採用するなど、2トーン5色、モノトーン5色の全10色展開としました。
- ・インテリアは直感的で操作しやすい電子制御セクターレバーや7インチカラー液晶メーターを採用し、EVらしい先進的なイメージとしています。インストルメントパネルは、USBポート（「P」に標準装備、「G」にメーカーオプション設定）や随所に設けた収納スペースなど、機能性にもこだわりました。
- ・メーカーオプションでプレミアムインテリアパッケージを設定。ライトグレーを基調に、合成皮革と立体感のあるダイヤ柄エンボス加工を施したファブリックのコンビネーションとし、上質感を演出しました。またインストルメントパネル周りにはソフトパッドを配し、各所に銅色のステッチをアクセントカラーとして入れることでワンランク上のプレミアムな空間としました。（Pにメーカーオプション設定）
- ・7インチカラー液晶メーターは、バッテリーステータスや電費情報、ナビゲーション情報など、EVとして必要な各種情報を分かりやすく表示。また、9インチスマートフォン連携ナビゲーションは、充電スポットや目的地までの推定電池残量などを表示します。スマートフォンと連携することで、Android Auto^{TM*9}やApple Car Play^{*10}も活用でき、Apple Car PlayはiPhone^{*11}とワイヤレスでの接続が可能です。（「P」に標準装備、「G」にメーカーオプション設定）

*9・・・Android AutoTMは Google LLC の商標です。

*10・・・Apple CarPlay は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

*11・・・iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

2. 販売概要

(1) メーカー希望小売価格

(リサイクル料金、保険料、消費税を除く税金、登録・届出等に伴う費用は含まれません)

グレード	車両本体価格 (消費税10%込)	(参考) 令和3年度補正予算 「クリーンエネルギー自動車・ インフラ導入促進補助金」 令和4年度「クリーンエネルギー 自動車導入促進補助金」	実質購入金額 (最大、目安)
G	2,398,000	550,000	1,848,000
P	2,932,600	550,000	2,382,600

(2) 予約注文特典

発売までに注文いただいたお客様への特典として、4種類の「選べるオプションプレゼント」をご用意しています。

<『eKクロスEV』車種サイトはこちら>

https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/ek_x_ev/index.html

以上